□ 巻頭言

基町プロジェクトのご紹介

広島市立大学芸術学部准教授　中村 圭

2013年7月（平成25年）、「**基町住宅地区活性化計画（以下、活性化計画）**」が策定されました。現在、広島市はこの活性化計画に基づき、地区住民等と協働して地区の活性化に取り組んでいます。また、2018年（平成30年）12月には、「**将来を見据えた基町地区のまちづくりビジョン（以下、まちづくりビジョン）**」が発表され、これを実現していくために、2019年（令和元年）現在、地区住民や広島市職員により、活性化計画の改定作業が進められています。なお、各種資料は、広島市ウェブサイト「基町地区活性化計画協議会（注1）」で公開されています。

基町住宅地区の象徴的な建築である基町高層アパートでは、住戸改善工事が進んでおり、残り数年で、全ての住戸が綺麗で機能的な住戸になります。制度上も、若年世帯や学生などを対象とした特別入居枠が設けられるなど、多方面から地域を活性化しようとする取組が行われています。活性化計画に掲げられた取組は、広島市と地域が取り組むもの両方がありますが、広島市は全体の実施率を53.5%（短期的な取り組み）と自己評価しています。

活性化計画に掲げられたメニューは数多くありますが、その１つとして「**基町アートロード、アートによる魅力づくり**」があります。2014年、この取組の実現を目指すために、広島市立大学と広島市中区役所によって、**基町プロジェクト**が開始しました。そして、私は市立大学のメンバーとして基町プロジェクトの立ち上げ当時から現在まで、その中心的メンバーとして基町住宅地区に携わってきました。前置きが長くなりましたが、基町プロジェクトの位置付けがご理解いただけたかと思います。

さて、プロジェクトの基本的なアイデアは、現地にプロジェクトの拠点「Ｍ９８」を設置し、地域で学生や若い人が**＜何かを手で作る場＞**をつくる。そして何かを作っている**＜過程とその様子を重視＞**することにあります。これまで、**＜学ぶ＞＜創造＞＜交流＞**を基本テーマとして、様々な取り組みを行なってきました。特に若い学生をはじめとした、これまで基町住宅地区に足を運ぶことがなかった多くの方々に、実際に基町に来ていただく機会を作ってきたことには大きな成果を感じています。また、私自身も地域の方々との交流を通じて、これまで知ることのなかった広島の歴史を学ぶ機会を得ました。

具体的な記録やエピソードは、プロジェクトのウェブサイト（注2）やFacebookで公開していますので、是非ご覧いただきご意見をいただきたいと思います。

基町には様々な難しい課題があると感じますが、歴史の成り行きとして必然的に現われたそれら諸課題にどのように取り組むか、また、限られた人しか知らない地域の魅力をどのように活かすか、という視点に立てば、これらは可能性の種のようにも見えてきます。

そうした可能性を探り続けるため、現在、基町プロジェクトの基本コンセプトの見直しを行なっています。その背景には、まちづくりビジョンの重点取組項目17件の１つとして「**基町プロジェクトの充実**」が掲げられたこともあります。

このプロジェクトは、中区との共同事業であるため、ここに改定内容に関する具体的なアイデアをご紹介することができないのが残念ですが、基町の歴史を学び、そこから新しいものを作り、そのプロセスや成果が地域の内外をつなぐ、という大きな方向性は維持されるでしょう。また、基町住宅地区の歴史を考えると、周辺エリアとのつながりは特に重要だと、個人的には考えています。

目下のところ、ポップアップショップとして使える店舗を整備したり、高層アパートの室内調査を行ったりと、実験的な取り組みを行いつつ、新しい方向を探っているところです。こうした実験を通じた考察を踏まえて、今年度末には、新しい基町プロジェクトの計画をご紹介できると思います。基町が希望のまちとなるよう、特に若い人が活躍できるような場をつくれるよう、これからも創意工夫していきたいと思います。

（注１）基町地区活性化計画協議会　http://www.city.hiroshima.lg.jp/www/contents/1558587328832/index.html
（注２）基町プロジェクト　http://www.motomachiproject.net/